

町小だより

平成31年
4月19日
No. 633
御免町小学校

『挑戦する子どもの育成』～1年目～

私たちも歩みを進めます

校長 藤井 聡

新しい年度が始まり、2週間が経ちました。497人の子どもたちと54人の職員で、気持ちのいいスタートを切ることができました。

保護者の皆様や地域の皆様をはじめ、関係の皆様方には、様々な場面でお世話になります。何卒、よろしくお願い申し上げます。

新しいことや苦手なことに『挑戦』するには、膨大なエネルギーが必要になります。そして、得るものばかりではなく、失うものもあるかもしれません。それでも、何かに『挑戦』し続けたいと、私は思います。

平成31年度のグランドデザインの中心に、教育課題克服のためのキーワードとして『挑戦する子どもの育成』を掲げました。これは、昨年度の様子から、子どもたちと職員に目標としてもらいたいキーワードとして示したものです。

保護者の皆様、地域や関係の皆様の御理解と御尽力を賜りながら、『挑戦する子どもの育成』に取り組んでまいりたいと存じます。よろしくお願いいたします。

さて、御免町小学校では、学校職員も『挑戦』をテーマに動き始めました。ベテランも若手も、今の自分に満足することなく、『新しい自分』を求めて歩みを進めています。日々の授業では、教師が一方的に知識を注入する「教授型」からの脱却を図り、子どもが前面に出て主役となるよう授業の進め方を変えています。このやり方は、準備も時間もかかります。何よりも大変なのは、学習意欲を高めるところから始めなければならないことです。子どもが主体的に『学び』を深めるには、とにかく学習意欲を高めることが生命線になるからです。

もう一方で、取り組んでいることは、自らの『思い』を『言葉』にすることです。自分がどんなことに『挑戦』するのか、そのためには、自分をどう変えていかなければならないのかといった『思い』を言葉にすることで自覚させていきます。決まりきった型通りの言葉や誰かに言わされているような借り物の言葉ではなく、自分の言葉で、自分の思いを表現できるように導いてまいりたいと思います。そして、言葉にしたことを実践に移そうとする意欲を喚起しながら、実現に向けた「術」を獲得させていきたいと考えています。